

附中通信

～気づきが拓く学校づくり～

三重大学教育学部
附属中学校

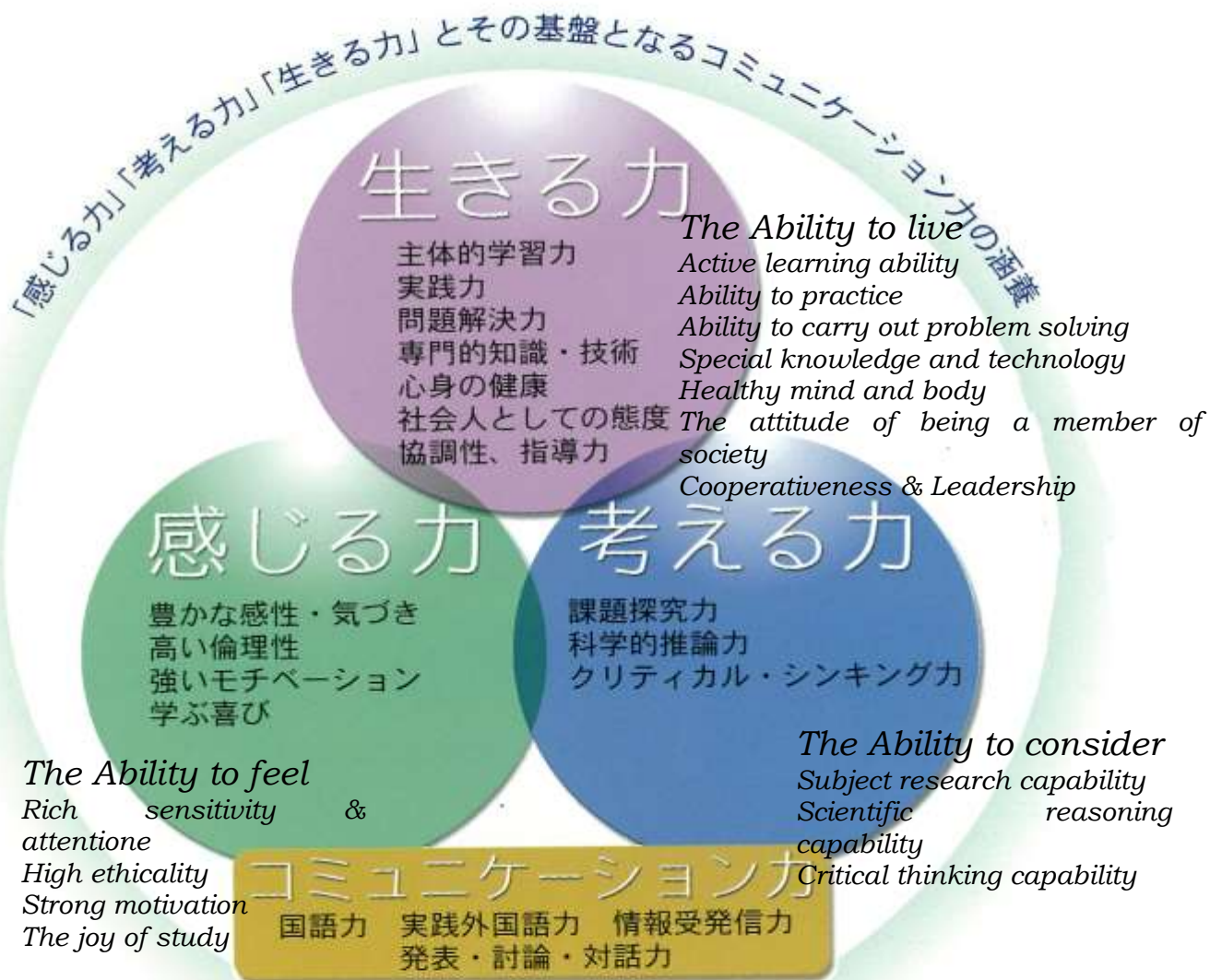
No.1

平成31年4月18日

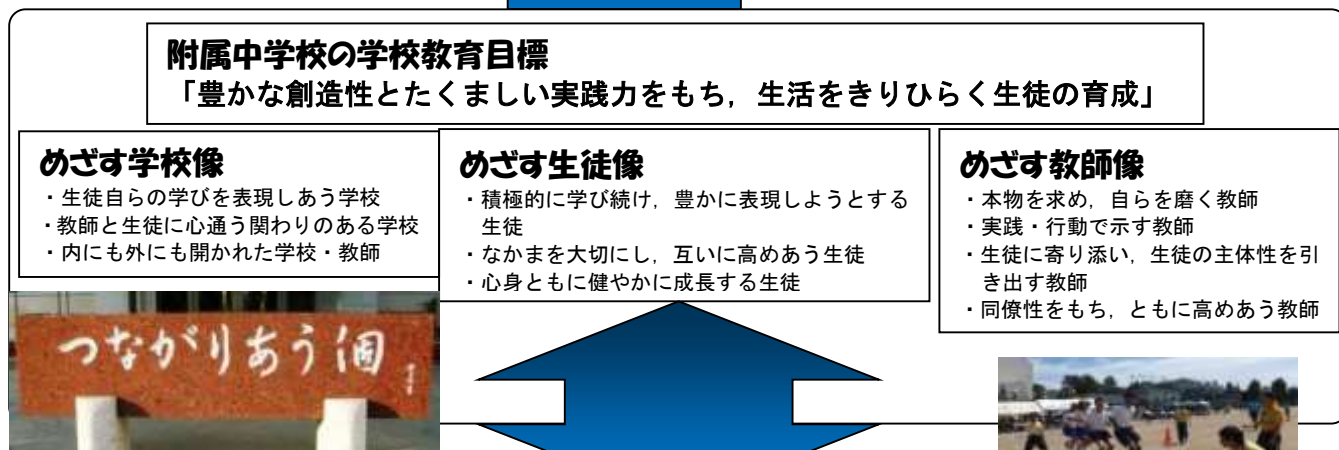
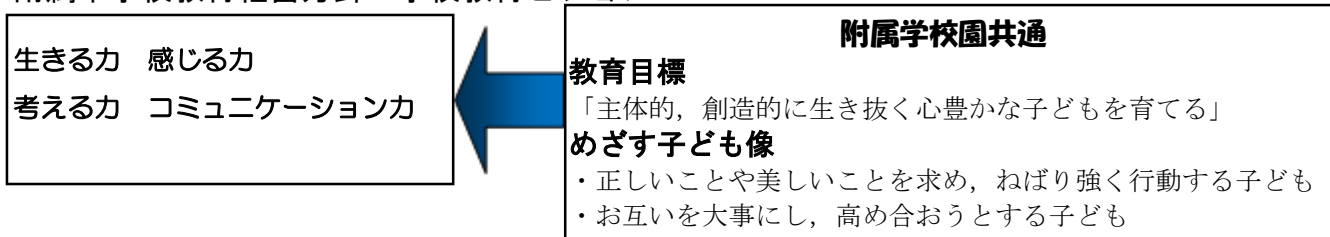
三重大学が大切にしている4つの力(教育目標)

*The Four capabilities which Mie University values
(Educational targets)*

We aim to cultivate that those 4 capabilities "the capability to feel", "the capability to consider", and "the capability to live".



附属中学校教育経営方針・学校教育ビジョン



平成 31 年度の具体的な行動計画

【聴き合い、学び合う関わりを育て、生徒一人ひとりの学びを大切にしたい授業づくり】

- 1 授業公開や事例検討を積極的に進める。(1人3回以上/年、のべ90回)
- 2 実践例や研究授業の振り返りを教科部会を中心に、今次研究の成果を推進する。また、プレ公開や他校との連携の場などを通して本校の取り組みを積極的に発信する。
- 3 学部との連携を積極的に進める。(連携授業、授業、教育実習、ボランティア等)
- 4 専門性や力量を高める研修会やベンチマーキングに積極的に参加し、その還元に努め、OJTの活性化を図る。
(他附属をはじめ各種研究会への参加、学部との連携)
- 5 シラバスの活用やノート指導を通して、学習習慣の定着や自律して学ぶ態度を養う。

【豊かな関わりを育み、豊かな心を育てる教育活動の推進】

- 1 「自ら動く！附中生」を活動方針として掲げ、生徒会活動を支援し自治の力を養い、他との交流に積極的に参加する。
(ユネスコ、リーダー交流、他校との交流など)
- 2 挨拶、清掃、朝読、部活動のとりかかりに重点を置き、共通理解を大切に教師集団が率先して取り組む。
- 3 月2回程度ノー会議デーを設けることなどにより生み出される時間を、生徒会活動をはじめ、生徒の自主活動に充てる努力を続け、教師が生徒活動を支援することを通して、教師と生徒の信頼関係をより深める。
- 4 人権教育を基盤にした集団づくりの力量を高めるとともに、道徳の指導の在り方について検討を進める。
(橋北中校区の人権学習実践交流会への参加、道徳時間の確保)
- 5 防災教育の推進や危機管理体制、環境の整備に努める。

【教職員の学校経営への参画と改善、効率化の推進】

- 1 めざす学校像実現に向けて、教職員との対話を積極的にもち、自校のミッションを共有すると共に、学年、学級での具体化につなげる。(個人面談2回/年)
- 2 一人一台パソコンの利用を活用し、がルーンや共有ファイル等による情報共有、反省、引き継ぎ等の効率化を進める。
(月・木以外は朝の打ち合わせなし)
- 3 各分掌からの提案は必ず企画委員会に提出し、事前の検討を加える事や、定型の業務についてルーチン化、資料の事前配布など会議の効率化を図る。また、それぞれの取り組みにおけるP-D-C-Aサイクルの積極的な運用に取り組む。
- 4 年間変形労働時間による勤務時間管理を行うとともに、働き方改革を推進し、過重労働の軽減を目指す。

【学部や保護者と進める開かれた学校づくり】

- 1 学校自己評価とともに学校関係者評価委員による学校評価を実施する。
(学校関係者評価委員会 3回/年)
- 2 メール配信の継続や学校だよりの発行(1回/月)等、積極的な情報発信に努める。
- 3 ホームページの更新を継続的に行い、充実を努める。
- 4 育友会活動や学生ボランティアの活用等、本校にとって効果的かつ継続可能な活動について育友会役員とともに推進を図る。
- 5 四附属一貫教育のカリキュラムを実践検証し改善につなげる。